

岩手県HDD工法協会を設立

10月1日「岩手県HDD工法協会」が岩手県盛岡市・南部会館において設立総会が開催された。初代会長には小谷野信幸氏（ライフライン工業株）が就任された。



設立総会のもよう

同協会は、HDD（誘導式水平ドリル）工法の普及および技術向上をめざし会員企業の発展を目的として設立された。会員は、旭ボーリング株、株小松製作所、新栄重機建設工業株、中央水道土木株、株トーメック、有長内工業、日本ノーディングテクノロジー株、株水清建設、ライフライン工業株の9社。

事務局：岩手県紫波郡矢巾町西徳田5-201-2

株水清建設内（Tel.019-697-2318, Fax.019-697-2530）

エコTMS・管入替工法研究会が実証実験を公開

エコTMS・管入替工法協会研究会は10月7日、埼玉県さいたま市の大林道路株埼玉営業所内において「EC-Jスーパー工法」の実証実験を東京都やさいたま市の職員など約50名に公開した。

英国・ペルコエンジニアリング社から技術導入した破碎機を使用する「EC-Jスーパー工法」は最大適用管径も従来の工法のφ250からφ600に拡大され施工時間も1/2に短縮することができるとのこと。



実証実験風景

オデッサシステム工法協会を設立

9月28日愛知県東海市・東海シティホテルにて「オデッサシステム工法協会」の設立総会が開かれた。オデッサシステム工法とは、オデッサ・テクノス株が開発した建設汚泥を短期間に建設土木資材として再生す

る汚泥再資源化工法である。汚泥の処理施設は、脱水処理や乾燥処理が一般的だが、本システムはその場で汚泥を造粒固形化処理することが特長である。推進工事などの土木建築工事などで発生する建設残土や汚泥をホッパーに投入して造粒機の中でセメント系特殊固化材「ハードロップ」を添加しながら攪拌させ汚泥を粒状化させる。そこで発生した造粒物「ユニ・ソイル」は盛土、埋め戻し土、路床などに再利用することが出来る。また、本システムは、汚染土壌のサンプルを事前調査の上、セメント系固化材とともに化学薬品を添加することにより重金属などの汚染土壌を改良することも可能である。

事務局：宮城県仙台市青葉区柏木1-2-45

（Tel.022-301-3231, Fax.022-717-0747）



オデッサシステム工法

第15回非開削技術研究発表会を開催

10月25日東京都千代田区・中央大学駿河台記念館において、第15回非開削技術研究発表会を開催し約150名の参加者を得た。本年は小中口径推進技術、中（超）大口径推進技術、非開削関連技術、HDD（誘導式水平ドリル）工法、管更生・品質管理技術と5セッション24件の論文が発表され。

研究発表会終了後、同会場3階で意見交換会が開催され、座長をはじめ発表者、参加者約80名が参加して論文発表者への質問や感想など意見交換が行われた。



研究発表会の様子